

ホンデュラス共和国
マヤ文明を中心とした考古学活動機材整備計画
(文化遺産無償)
簡易機材案件調査報告書

平成12年3月

国際協力事業団

無償二

CR(1)

01 - 090

序 文

日本国政府は、ホンデュラス共和国政府の要請に基づき、同国のマヤ文明を中心とした考古学活動機材整備計画にかかる簡易機材調査を行うことを決定し、国際協力事業団が財団法人日本国際協力システムとの契約により簡易機材案件調査として実施しました。

当事業団は、平成 12 年 11 月 21 日から 12 月 18 日まで簡易機材案件調査団を現地に派遣いたしました。

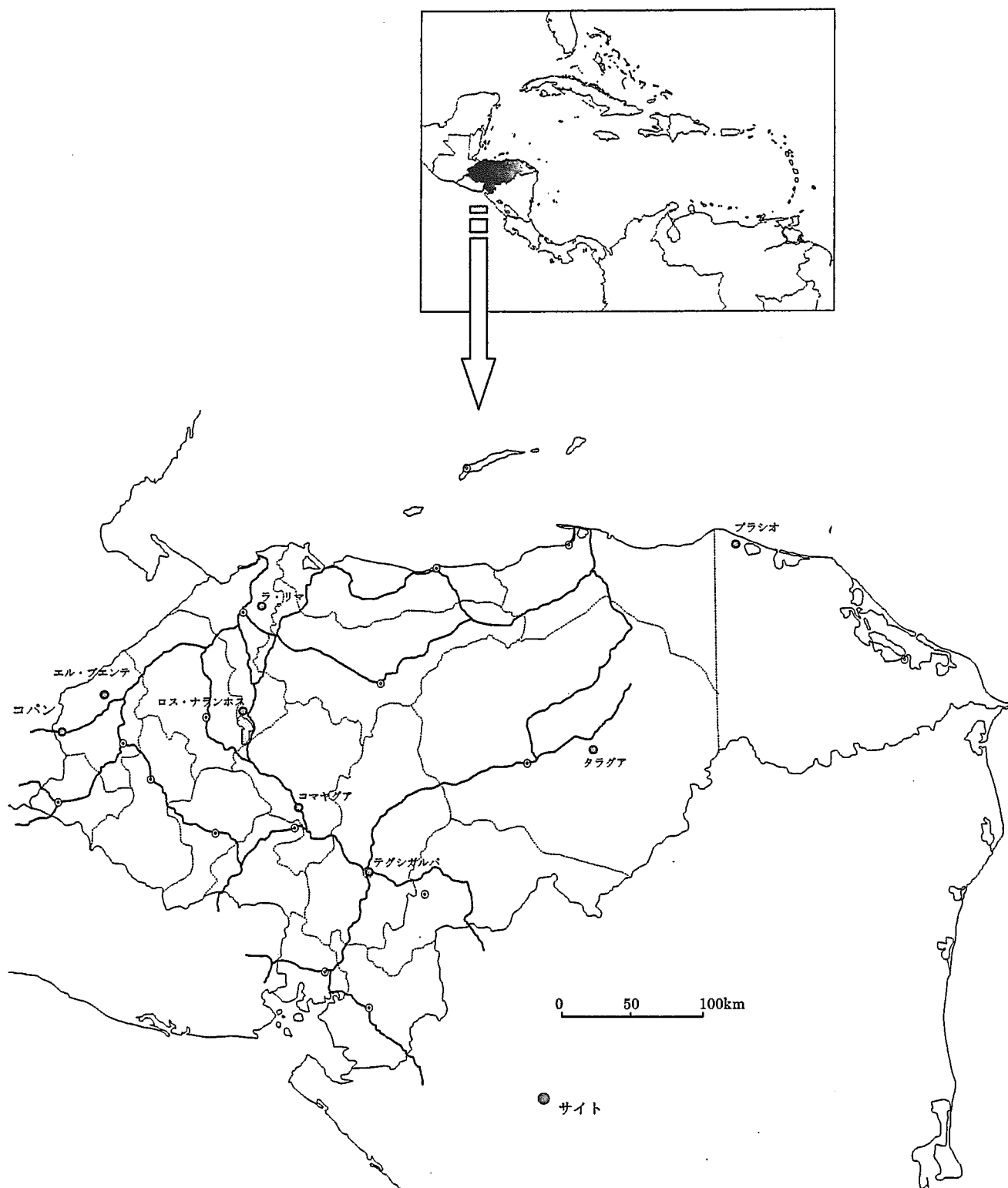
この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 12 年 3 月

国際協力事業団
総裁 齊藤 邦彦

位置図



目 次

序 文
位置図
写 真

第 1 章 要請の背景	1
第 2 章 プロジェクトの周辺状況	4
2 - 1 当該セクターの開発計画	4
2 - 2 他の援助国、国際機関等の計画	4
2 - 2 - 1 世銀	4
2 - 2 - 2 ユネスコ	5
2 - 2 - 3 UNDP	5
2 - 2 - 4 米ゲティ研究所	5
2 - 2 - 5 その他	5
2 - 3 我が国の援助実施状況	6
2 - 4 プロジェクト・サイト及び周辺の状況	6
2 - 4 - 1 社会・経済状況	6
2 - 4 - 2 自然条件	6
2 - 4 - 3 社会基盤整備状況	7
2 - 4 - 4 既存施設・機材の現状	8
第 3 章 プロジェクトの内容	13
3 - 1 プロジェクトの目的	13
3 - 2 プロジェクトの基本構想	13
3 - 2 - 1 調達機材	13
3 - 3 基本設計	14
3 - 3 - 1 設計方針	15
3 - 3 - 2 基本計画（機材計画）	15
3 - 3 - 3 調達方針	26
3 - 4 プロジェクトの実施体制	29
3 - 4 - 1 組織	29

3 - 4 - 2	財政・予算	30
3 - 4 - 3	要員・技術レベル	31
第4章	事業計画	33
4 - 1	実施工程	33
4 - 1 - 1	実施工程	33
4 - 1 - 2	相手国負担事項	33
4 - 2	概算事業費	34
4 - 2 - 1	概算事業費	34
4 - 2 - 2	維持・管理計画	35
第5章	プロジェクトの評価と提言	36
5 - 1	妥当性にかかる実証・検証及び裨益効果	36
5 - 1 - 1	裨益効果	36
5 - 1 - 2	妥当性の検証	38
5 - 2	技術協力・他ドナーとの連携	39
5 - 3	課題	39
附属資料		
1	調査団員氏名・所属	43
2	調査日程	44
3	関係者（面会者）リスト	45
4	討議議事録	46
5	入手資料リスト	57
6	その他の資料	59
6 - 1	プレハブ倉庫据付予定地（CRIA）	59
6 - 2	機材設置場所（CRIA）	60
6 - 3	維持管理費積算根拠	61